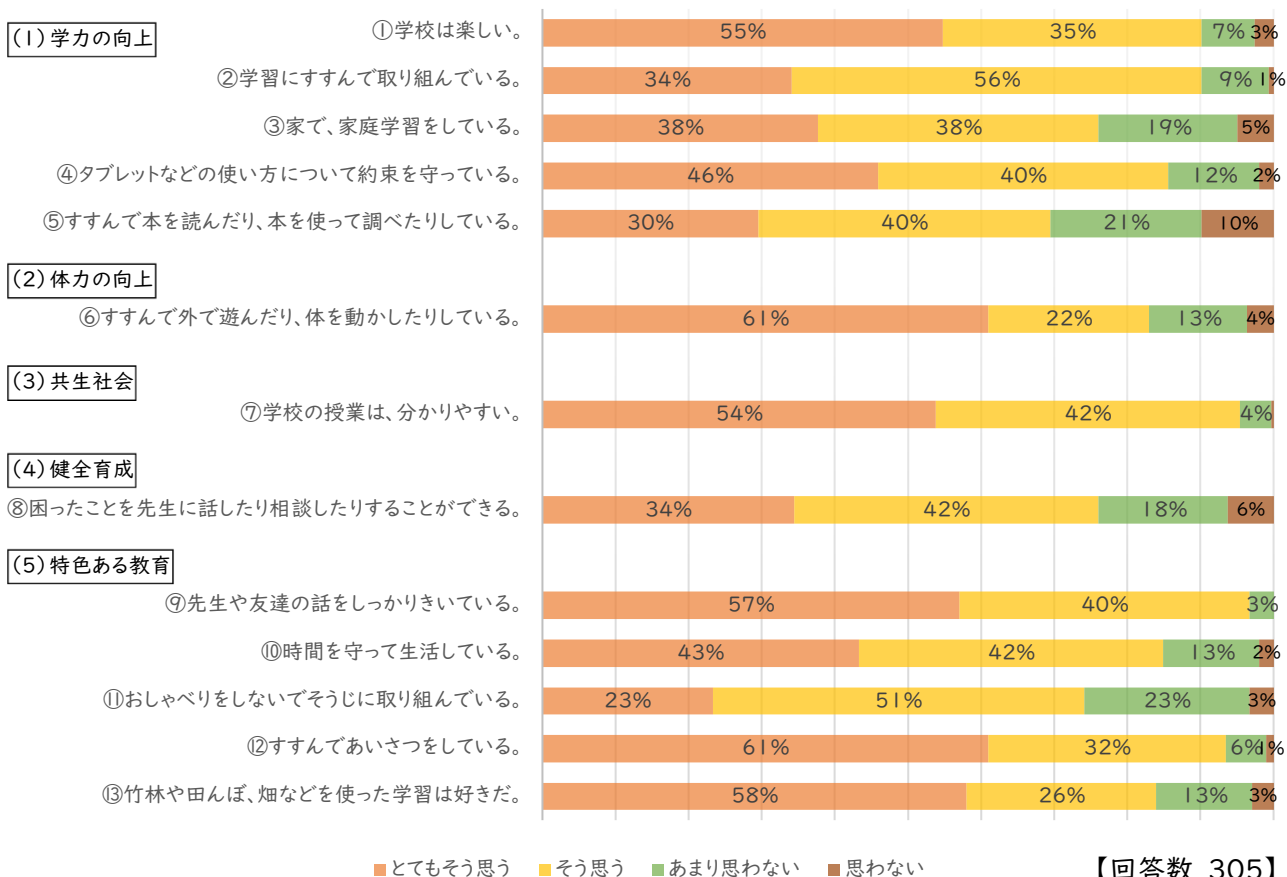


令和5年度 学校評価アンケート集計結果と考察

江戸川区教育委員会の重点課題に沿って結果を考察する。

1 児童アンケートより



(1) 学力の向上

学力については、学校での学習に前向きに取り組む、自分の力を伸ばそうとする子供たちの意欲が感じられる。学校の授業は分かりやすいと感じ、すすんで取り組もうとするが、家庭学習がなかなか身に付かない点は、昨年度同様の課題である。子供たちが家庭で一人でも学習に取り組めるように、一人一台端末を活用するなど課題の出し方を工夫していくことが必要である。

(2) 体力の向上

すすんで体を動かしている子供が多いことが分かる。令和5年度実施の『東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査』においても、江戸川区、東京都の平均より本校の子供たちの体力合計点が上回っていた。休み時間を上学年と下学年に分けて子供たちが思い切り体を動かせる環境をつくっていることや教師も外に出て子供たちと体を動かしていること、しのごータイムの設定などが、子供たちの体力向上につながっていると考える。

(3) 共生社会の実現に向けた教育の推進

肯定的回答が96%と圧倒的に多かった。特別支援教育について教員向けの研修会を行ったり、ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりをしたりしたことによる成果であると考え。今後も、全員の子供がそれぞれの力を発揮できる授業の工夫と全員の子供にやさしい環境づくりに努めていく。

(4) 子どもたちの健全育成

肯定的回答76%と、他の質問項目と比較すると肯定的回答が若干低い割合となった。これまでも、子供たちの様子について教職員で共通理解を図ったり、Hyper Q-U を実施し、分析結果を学級経営や児童理解に生かしたりするなどしているが、一層の工夫と努力を重ね、学校や学級により受容的、共感的肯定的な雰囲気をつくっていく。

(5) 特色ある教育の展開

☆「静(話を聴く)・整(時間を守る・そうじを大切にす)・動(あいさつをする)のある学校」

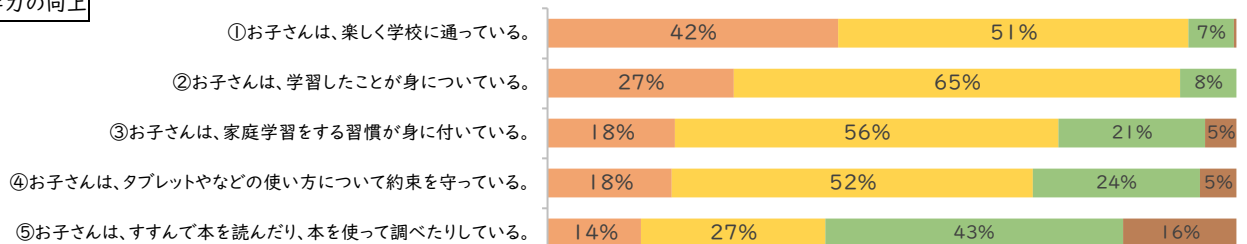
特に、あいさつについては、「とてもそう思う」と回答した児童が 61%となっており、教師が率先垂範することにより、子供たちが「太陽のあいさつ」を意識して生活することができていると考える。一方で、掃除については、「とてもそう思う」と回答した児童は 23%と全 13 項目の中で最も低い。無言で清掃に取り組むことで感じられるよさや充実感を子供たち自身が感じられるようにすることで、気持ちのよい生活習慣・生活環境をつくる姿勢をしっかりと育てていきたい。

☆「かかわり、共育・協働のある学校」

各学年の学習に竹林や田んぼ、畑などを使った活動を位置付け、地域や保護者の方々の協力をいただきながら活動を行ったことにより、子供たちから多くの肯定的回答を得ることができた。本校の伝統であるこれらの学習を今後も大切に、自然を生かした環境教育を行っていく。

2 保護者アンケートより

(1) 学力の向上



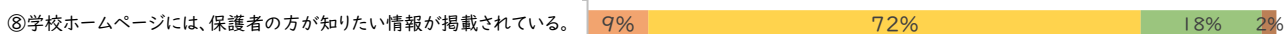
(2) 体力の向上



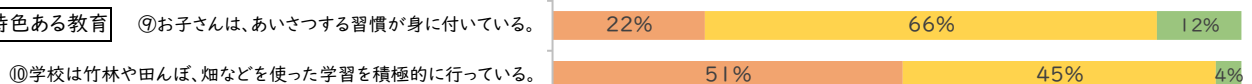
(3) 健全育成



(4) 開かれた学校



(5) 特色ある教育



■ とてもそう思う ■ そう思う ■ あまり思わない ■ 思わない

【回答数 244】

(1) 学力の向上

「学校に楽しく通っている」の質問に対して、93%の保護者から、そして、90%の児童から肯定的回答を得られたことは、学校として大変うれしいことである。学力について、学校での学習や家庭での学習に対して肯定的に捉えている保護者が多いことが分かる。今後も、「篠五スタンダード」を徹底して学習規律を指導したり、学習タイムを活用したりすることで、子供たちが基礎基本の知識・技術を確実に習得できるようにしていく。一方で、「お子さんが本を読んだり、本を使って調べたりしている」の設問に関して、肯定的な回答は41%と大変少なかった。今年度から取り組んでいる「読書科ノート」の内容について保護者の方への周知を行ったり、年間で2回行っている「家読週間」について保護者の方とより協力して取り組めるようにしたりするなど、さらなる工夫が必要である。そして、読書が好きだと感じる子供たちを増やしていきたい。

(2) 体力の向上

肯定的回答が83%と、保護者の方は子供たちがすすんで体を動かしていると捉えていることが分かる。今後も、子供たちが楽しみながら運動に取り組めるように体育科の学習やしのごータイムの内容をより工夫していくことで、学校以外の場でもすすんで体を動かす子供たちを育てていきたい。

(3) 子どもたちの健全育成

担任と養護教諭が中心となって保護者の方との連絡を密にし、子供たちの指導に関して共通理解を図ったり、連携したりしたことや、4年生以上の子供たちにスクールカウンセラーによる全員面接を行ったことなどが、肯定的な回答を88%得られた要因であると考えられる。これからも、保護者の方としっかり連携を図り、子供たちの支援・指導にあたる。

(4) 地域に広く開かれた学校の実現

学校ホームページで学校や学年のできごとを週に3回以上更新していることや給食メニューの毎日の更新、学校だより・学年だより等のおたよりの毎月の更新などが、肯定的回答を81%と多く得られたことにつながったと考える。しかし、「とてもそう思う」と回答された方は9%と少なかった。自由記述で保護者の方からいただいた意見を基に、保護者の方や地域の方が知りたい情報は何かを検討し、内容の充実を図っていく。

(5) 特色ある教育の展開

☆「静(話を聴く)・整(時間を守る・そうじを大切に)・動(あいさつをする)のある学校」

保護者の方から88%と肯定的回答を多く得ることができ、本校の教育活動の柱の一つである「あいさつ」について保護者の方への認識も深まっているのではないかと感じる。「心を育て学力を伸ばす」という学校経営方針に基づき、望ましい生活習慣の確立について今後も努めていく。

☆「かかわり、共育・協働のある学校」

各学年の学習に竹林や田んぼ、畑などを使った活動を位置付け、地域や保護者の方々の協力をいただきながら活動を行ったことにより、保護者の方から84%と多くの肯定的回答を得ることができた。本校の伝統であるこれらの学習を今後も大切にしていきたいと共に、学年だよりや学校ホームページなどを通じて保護者の方にも広く周知していきたい。